

学研 おんがく通信

Web版も
ありよ
♪バックナンバーが
閲覧できる!
♪ウェブならではの
情報が満載!

9月号

2012年8月25日

Gakken

(株)学研パブリッシング 音楽出版事業室
〒141-8412 東京都品川区西五反田2-11-8
Tel. 03-6431-1220

学研 おんがく.net <http://gakken-publishing.jp/ongaku/> 学研 電子ストア <http://ebook.gakken.jp/gstore/>

こんにちは! ロンドンオリンピックも終わり、選手の皆さんの粘り強く熱いプレーから、たくさんの感動と勇気をもらいました。一方の私は、まだまだ暑い日が続くそうなので、納豆、おくら、モロヘイヤ、長芋、めかぶ…ねばねば食品をたくさん食べて、暑さに負けず、粘り強く過ごしたいと思います! (の)

時代を知る-② ジョン・ケージのアメリカ音楽

独特の音楽論や表現を開拓し、音楽だけではなく前衛芸術全体に影響を与えたアメリカの作曲家、ジョン・ケージ。彼は、来る9月5日に生誕100年を迎えます。第2回目の『時代を知る』は、ジョン・ケージの生きた時代のアメリカ音楽について見てみましょう。この頃アメリカでは、生活を題材にする描写的音楽が盛んでした。以来、アメリカ作曲界には世界のあらゆる作風やジャンルが混在しています。2012年1月号の『時代を知る-① ドビュッシー』の年表と併せて、フランスとアメリカの音楽の変化を比較してみることで、また新たな発見ができるはずですよ!

12	14	21	24	28	29	30	32	33	35	36	38	39	40	43	44	45	48	49	51	52	56	57	58	59	63	67	70	76	83	92									
ケージ生	第一次世界大戦(一八)	ポール・ホワイトマンのジャズがヨーロッパで流行	イギリスとアメリカでラジオ放送開始	ガーシュウィン「ラブソング・イン・ブルー」	フォスター「ケンタッキーのわが家」が州歌になる	世界経済恐慌(アメリカから全世界へ)	パリで建築とピアノを学ぶ	スウェーデン・ジャズマン楽団結成	ベニー・グッドマン楽団結成	ニュー・デイル政策(一三六)	シエンヘルク米移住	コープランド「ペリー・ザ・キッド」	コープランド「デイズニー『白雪姫』上映	コープランド「エル・サロン・メヒコ」	ガーシュウィン「ボーギーとベス」初演	シエンヘルク米移住	第二次世界大戦(四五)	ノイズ打楽器による「ファースト・コントラクション」	ロジャース「オクラホマ!」	ロジャース「アパラチアの春」	ニューヨーク・メトロポリタン歌劇場、初のジャズ音楽祭	鈴木大拙に禅を学ぶ(東洋思想)	「音の美的価値や優劣ではなく、あるがままに聴く」という偶然性の思想	エルヴィス・プレスリーが大人気	ポロック「収斂」	音楽史上最大の問題作「4分33秒」	モダン・ジャズ流行	チャンス・オペレーション作曲法を編み出す「変化の音楽」	史上初のハプニング「シアター・ピース第一番」	ブリリアード・ピアノのための「ソナタとインタリーリユード」	「年表」で時代を俯瞰した後、気になる「キーワード(=様々な視点)」を調べてみましょう♪	「連歌」「アバウトメント・ハウス」の「ボストン響」初演	「電安寺」図形楽譜	ケージ没					
							ケージ、シエンヘルクに 対位法と音楽理論を学ぶ																																
1900年頃										大正										昭和										平成									



【キーワード】
植民地/アメリカニズム/ブルース/ラグタイム/ジャズ/吹奏楽/カントリー・ミュージック/
R&B/抽象表現主義/通俗楽派/実験音楽/ロック/ミニマリズム/フュージョン/
ポップ・アート/ヒップホップ

【同時代にアメリカで活躍した音楽家】
スーザ/ジョプリン/ラフマニノフ/アイヴス/クライスラー/バルトーク/グレンジャー/
ストラヴィンスキー/ヴァレス/グロウフェ/ピストン/ガーシュウィン/コープランド/
ロジャース/バーバー/バーンスタイン/デイヴィス/ライヒ/グラス/モンク

最近のアプリ事情

ものや、楽しく遊びながら学習できるもの、音楽絵本やゲームなどがあります。お好みのものをアプリ・レビューサイトや口コミをご参考に、探されてみてはいかがでしょうか?これらのアプリケーションは、どこでも気軽に楽しめるところが魅力です。親子のコミュニケーションにも、是非お役立て下さい♪

学研からも かわいい
ピアノ・アプリを
配信中♪



iPhone・iPad向けアプリ
ピアノひたね!
どれみふあむらの たんけんたい

丸子あかね 監修/轟千尋 作曲/尾田瑞季 絵
AppStoreにて配信中。
無料2曲入り、追加パック250円(3曲入り)。※全3パック

びあめどリーむ 情報



「びあめどリーむ」シリーズの創刊について、2回目の今回は「レパートリー1~6巻」です!「レパートリー」は1997年3月に第1~3巻、4月に第4~6巻と、それぞれ3冊ずつ同時に発刊されました。「びあめどリーむ」が浸透してゆくにつれ高まった、「びあめどリーむテキスト」と併用できるレパートリー曲集への要望、を受けて発刊に踏み切ったため、「テキスト」「ワークブック」発刊から4年の歳月が必要だったのです。…と、またしても紙数が尽きてしまいましたので、続きます…。(か)



9月25日は



グレン・グールドの♪
(1932~1982) お誕生日!!

J.S. バッハに通称「ゴルトベルク変奏曲」という鍵盤楽器のための独奏曲があります。おそらくこの文章を目にしているほとんどの人が知っているかと思いますが、サラバンドという舞曲の Aria とその低音部による 30 の変奏曲からできています。反復を指示通りに演奏すれば 90 分ほどかかる大曲です。

さきの 5 月に 98 歳で他界した音楽評論家の吉田秀和に『名曲 300 選』というかなり古い著作があって、この曲について「私にはどうも長すぎで、おもしろいが敬遠したい曲であった」と書かれています。当時、おおかたのこの曲の受けとめ方はそんな感じであったのだらうと思います。

しかし、1955 年に 22 歳の青年ピアニストによって録音された 1 枚の LP レコードによって、この大曲をめぐる世界が激変したのです。吉田秀和は続けて書いています、「しかし半年ほど前、カナダのグレン・グールドのレコードをきいて以来、この曲を改めて見直した」と。グールドの 20 世紀の神話ともいえるデビューです。歯切れのいい高速テンポで、反復の指示を無視した全曲の演奏時間は、なんと 40 分をきっていました。この若者の思いきった解釈に世界中が魅了されたのです。現代ピアノによるバッハ演奏の可能性を開拓したとも言えます。「テンポがきわめて速いなんてことは表面的なことで、ペダルが極度に少ない彼のピアノがいかにも明るく近代的な響きにみちているか。それをよく味わってほしい」と書いた吉田秀和は、当時わが国ではいたって低評価だったグールドの演奏をいち早く熱烈に評価した評論家だったのです。その後、グールドは 50 歳で急逝しますが、その 1 年ほど前に再び「ゴルトベルク変奏曲」を録音しています。その頃には、日本はグールドの熱烈な支持者にあふれていました。その再録音は現在でもこれ以上ない評価を受けていますが、すべては 1955 年の録音から始まったのです。そして、いまや「ゴルトベルク変奏曲」には枚挙にいとまがないほどの録音があるのです。(え)



Happy Birthday

♪ヨハン・パッヘルベル
(ドイツ/作曲家、オルガニスト/1653.9.1生)

♪イグナツ・ホルツバウアー
(オーストリア/作曲家/1711.9.17生)

♪クルト・ザンデルリンク
(ドイツ/指揮者/1912.9.19生)

♪ジョージ・ガーシュウィン
(アメリカ/作曲家、ピアニスト/1898.9.26生)

今月の

あかね先生



「1の指＝ド」と思い込んでいる生徒さんはいませんか？指番号だけを見て曲を弾いてしまい、きちんと譜読みができないこともあるとか。あかね先生は、「ドを2の指で弾いてみよう！」など、導入期からひとつの音をいろいろな指で弾かせて、間違った認識をしないように工夫されてきました。ピアノ導入教材『ちいさなおんがくかい』には、そんなレッスン方法が盛り込まれています。(いも)

今月のセミナースケジュール

9/14 (金): [静岡県/富士] 丹沢楽器 富士店

『1音からはじめる楽しいピアノ・レッスン』



〇うださんが作った新しい楽器

ウダー

～ 其の十三～



8月はじめ、ウダーが金曜深夜のパラエティ番組「タモリ倶楽部」に出演しました。その日の番組テーマは「見ても聴いてもわからない特殊音楽家ライブ in ジャパン」。もちろん宇田さん自らが出演し、ウダー開発の歴史、ウダーに込められた思いなどを語りました。番組内で演奏していたウダーは量産品ではなく、宇田さんの手作り品で、言わばオリジナル。オリジナルと量産品の大きな違いのひとつは音源を内蔵しているかないか。オリジナルの音源は実は宇田さんが演奏時にイスとして使っているアンプボックスの中にあります。



音量も自由にかえられますが、ウダー本体だけでは音が鳴らないのです。量産品は音源、さらにスピーカーも内蔵して、いつでもどこでも演奏できるように開発中ですが、ウダーの筐体の中で、いかに良い音質、大きな音量を確保するか、それは、開発当初からのテーマです。音源はソフトウェアとして制作されるので、宇田さんは常にそのことを考え、会うたびに少しずつ音質が変わっていきます。音量については、まだまだ改良の余地があり、現在試行錯誤中です。(つづく)

紅葉

(もみじ)



日本の心

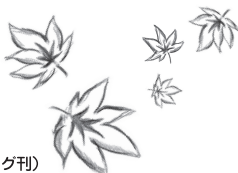
まだまだ厳しい残暑が続く9月…とはいえ、時折吹く爽やかな風、空を見上げるとうろこ雲、耳をすませばコオロギの鳴き声…と、少しずつ秋を感じる時間が増えてくる季節でもあります。今回は、日本の秋を代表する一曲をご紹介します。

“秋の夕日に 照る山紅葉 濃いも薄いも 数ある中に～”

この、日本を代表する名曲「紅葉」は、1911年(明治44年) 発刊の『尋常小学唱歌(第2学年)』に合唱曲として掲載されました。作詞は国文学者の高野辰之(1876~1947年)、作曲はオルガニストで東京音楽学校教授の岡野貞一(1878~1941年)。ふたりは小学唱歌教科書の編纂委員として出会い、この曲のほかにも、「故郷」「朧月夜」「春の小川」「春が来た」など、皆さんがよくご存知の名曲の数々を世に送り出しています。唱歌の多くが「四七抜き音階」で作られているなか、岡野はあえてファとシを抜かず、西洋風に曲を仕上げました(クリスチャンで教会のオルガニストでもあったことから、賛美歌を参考にしているとも言われています)。当時の日本人にとってこの曲の響きは、さぞや新鮮だったのではないのでしょうか。

なお、歌詞に描かれた紅葉は、上信国境碓氷峠の景色なのだそうです。高野はいつも蒸気機関車で峠を越え、故郷の長野県に帰郷していました。峠の急勾配をゆっくりと登る汽車の窓から見える、夕日に映える山々。高野が見たそんな絶景を思い浮かべながら、この歌を味わってみましょう。(く)

*参照「わたしの心の歌-秋」(学研パブリッシング刊)



つむりの練習手帳



つむりのレッスンは木曜日なので、家族みんながそろそろ土曜日とか日曜日だと、はじめてのところが多いから、ちょー下手くそなピアノが聞こえてきます。だから、パパはいつも「つむりのピアノ、これでだいじょうぶなの？合ってるの？」って心配してます。でも、パパが知らない水曜日ころには、ちゃんと弾けるようになってるんだよ。つむり、えらいなあ。(トホホお兄)

つむり現在の楽譜

- ☆こどものハノン[Ⓛ]
- ☆バステインピアノバイシックス1
- ☆ピアノフレンド2

→ こどものバイエル[Ⓛ](3分冊のもの)



編集部のつぶせいったー!

考えているだけではだめだって、ずっと考えてる…。 (@さ)



Facebookはじめました♪ <http://www.facebook.com/gakken.music>